SAMSUNG TECHWIN

高解像度ドームカメラ

取扱説明書

SCD-2080EVP

超高解像度カメラ
取扱説明書

商標について

SAMSUNG TECHWIN SAMSUNG は Samsung Techwin Co., Ltd. の商標登録されたロゴです。
この製品の名称はSamsung Techwin Co., Ltd.の登録商標です。
このマニュアルに記載のその他の商標はそれぞれの会社の登録商標です。

制約について

本取扱説明書に記述される取扱説明は著作権法で保護されています。
従ってSamsung Techwin社の了解なしに著作権法で許される範囲の複写を除き、取扱説明書の一部あるいは全部の複写及び複製は禁じられています。

免責事項について

Samsung Techwin は取扱説明書の完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。 この取扱説明書の使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うことになります。 本仕様は製品の性能向上のために事前予告なしで変更されることがあります。

このカメラを操作する前に、カメラのモデルおよび供給電源方式が正しいことを確認してください。
このマニュアルの理解を助けるため、モデルの表記について説明します。

■ SCD-2080EVPN
- NTSCモデル
  SCD-2080EVPN

■ モデルの表記
- SCD-2080EVPN

  信号システム

  電源供給システム ＝ 映像信号とDC電源の重畳伝送方式である事を示します。
  V： Video（映像信号）
  P： Power（直流電源）

- 信号システム
  N → NTSCモデル

概要

注意

感電の危険性あり
開けないでください

注意: 感電のリスクを避けるため、カバー(または裏面)を取り外さないでください。指定部品以外は使用できません。修理については、資格のあるサービススタッフにお問い合わせください。

この記号は、本製品には感電する恐れのある高圧電流が存在することを示しています。

この記号は、本製品の操作およびメンテナンスに関する重要な付属説明書があることを示しています。

警告

- 火災や感電の恐れがあります。製品を雨や湿気に晒さないでください。
- 損傷を防止するため、本製品を設置説明に従って床/壁にしっかりと取り付けてください。

警告

1. 必ず仕様書で指定されている標準アダプタのみを使用してください。
   他のアダプタを使用すると、火災、感電、製品の故障の原因になります。
2. 電源コードを誤って接続したり、バッテリの取替えを誤ると爆発、火災、感電、製品の故障の原因になります。
3. 1つのアダプタに複数のカメラを接続しないでください。 許容能力を超えると異常な発熱や火災の原因になります。
4. 電源コードを電源コンセントにしっかり差し込んでください。 接続が完全でないと火災の原因になることがあります。
5. メラを設置する際、安全にしっかりと固定してください。 カメラの落下は人身傷害の原因になります。
6. カメラの上に伝導体(例: スクリュードライバ、硬貨、貴金属など)や水の入った容器を置かないでください。 火災、感電、物体の落下に起因する人身傷害を招くことがあります。

7. 本製品を湿気や埃、すすのある場所に設置しないでください。 火災や感電の原因になることがあります。
8. 異臭や発煙が発生したら、製品の使用を中止してください。 このような場合にはただちに電源をオフにして、サービスセンターにお問い合わせください。 このような状態で使用し続けると、火災や感電の原因となります。
9. 本製品が正常に動作しない場合は、お近くのサービスセンターにお問い合わせください。 本製品は絶対に分解または改造しないでください。(サムスン社は未許可の改造や修理ミスに起因する問題に対して責任を負いません)
10. お手入れの際、製品のパーツに直接水を噴霧しないでください。 火災や感電の原因になることがあります。

注意

1. 製品に物を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。 過度の振動や磁器妨害のある場所に近づけないでください。
2. 高温(50°C以上)、低温(-10°C以下)、高湿度の場所に設置しないでください。 火災や感電の原因になることがあります。
3. 一度取り付けた製品を移動する場合には、電源がオフになっていることを確認してから移動あるいは設置し直してください。
4. 雷雨のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。 Neglecting to do この作業を怠ると製品の発火や損傷の原因になります。
5. K直射日光や放熱源に近づけないでください。 火災の原因となります。
6. 通気性のいい場所に設置してください。
7. CCDイメージセンサーに損傷を与える可能性があるので太陽のような極度に明るい物体にカメラを直接向けないようにしてください。
8. 機材に液体をこぼしたりかけたりせず、また瓶のように液体が入った物体を機材の上に載せたりしないでください。
9. 分離可能な電源プラグを利用し、いつでも利用できるように用意されています。
10. カメラを屋外で使用すると、屋内と屋外で温度差が生じるためカメラ内に結露が発生する可能性があります。 このため、カメラは屋内に設置することをお勧めします。 屋外でご使用になる場合は、ファンやヒーターを内蔵したカメラをご使用ください。

概要

FCC（連邦通信委員会）声明

本製品はFCC規則第15章に適合しています。操作は以下の2つの条件を前提とします。

1) 本製品が有害な電波妨害を引き起こさないこと。

2) 本製品は不適切な操作に起因する電波妨害を含む如何なる電波妨害も受け入れなければならない。

注意

本製品は、FCC規則第15章に定められたクラスAデジタル装置に関する規制要件にもとづいて所定の試験が実施され、これに適合するものとして認定されています。これらの規制要件は装置が商用環境で使用される際に有害な電波妨害に対する適切な保護を提供するために考案されました。

T本製品は電磁波を発生し、外部に放射することがあります。取扱説明書に従って設置、使用しないと無線通信の有害な電波妨害を引き起こす恐れがあります。住宅地域における本製品の使用によって有害な電波妨害を引き起こすことがあり、その場合ユーザーは自己負担で電波妨害の問題を解決しなければなりません。

重要な安全ガイド

1. 本書の説明をよく読んでください。
2. 本書の指示を守ってください。
3. すべての警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 本製品を水のそばで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布のみを使用して行ってください。
7. 換気口は塞がないようにしてください。 メーカーの指示に従って取り付けてください。
8. ラジエータ、熱レジスタ、あるいは熱を発するその他の装置（アンプなど）などの熱源のそばに設置しないでください。
9. メーカーが指定する付属品のみを使用してください。
10. カート、スタンド、三脚、ブラケットはメーカー指定のもの、あるいは製品と一緒に販売されたもののみを使用してください。 カート使用する場合、カートと製品を動かす際には転倒による損傷に注意してください。
11. 雷雨のときまたは長期間使用しない場合は、カメラコントローラの電源プラグを抜いてください。
12. すべての修理は資格のあるサービススタッフに任せてください。 電源コードまたはプラグが損傷した、装置内に液体がこぼれた、あるいは異物が混入した、製品を雨または湿気に曝した、正常に動作しない、あるいは落としたなど、装置になんらかの損傷を与えた場合は、修理を依頼してください。

目次

はじめに

特徴

- 高解像度
  このカメラは、6 mm（1/3インチ）の410,000（NTSC）ピクセルのSony CCDを採用することにより、カラーモードでは600TVラインの水平解像度を持つ鮮明な画質を提供します。
- 高感度
  内蔵の高感度カラーCCDが鮮明な画像を提供します。
  - カラー : 0.15ルックス(50IRE, @F1.2), 0.0003ルックス (感度アップ、 x512)
- SSNR3（Samsungスーパーノイズリダクション）機能
  高性能なW-V DSPチップは、低照度環境下で鮮明な映像を得るための機能です。低照度でのノイズを効果的に低減して、映像ゴーストの少ない映像を提供します。
- デイ/ナイト電子切換
  このカメラには、昼間または夜間の環境に適したモードを自動的に選択する機能があります。
- モーション検知
  被写体の動きを検出して画面上に表示する機能で、効果的な監視を可能にします。
- SSDR （Samsungスーパーダイナミックレンジ）
  明るいエリアと暗いエリアの間でコントラストが強い画像の場合、明るいエリアと暗いエリアの両方を見やすくする補正機能です。
- DIS（デジタル揺すれ補正）
  強風などで発生するカメラの揺すれによる画面の揺れを補正し、安定した画像を提供します。
- その他の機能
  HLC（ハイライト補正）、感度アップ、反転（H/V-REV）、D-ZOOM、鮮明度プライバシー機能等々、現場の環境に合わせて対応可能な豊富な機能を有します。
- OSD
  カメラのOSDは 7 つの言語で表示できます。
  - 韓国語、英語、フランス語、スペイン語、日本語、ポルトガル語、台湾語

はじめに

キット内容

製品パッケージに次のものが含まれていることを確認してください。

概観

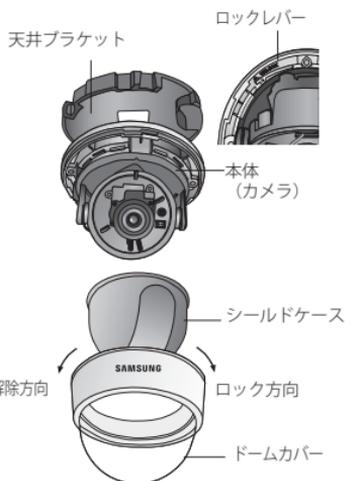
❶ パンニングベース: カメラのパンニング角度を制御します。
❷ 回転ベース: カメラの回転角度を制御します。
❸ x3.6バリフォーカルレンズレンズモジュール2.8～10mm（F1.2）
❹ モニターへのビデオ出力端子
❺ 機能設定スイッチ : 画面にメニューを表示し、カーソルを4方向に移動して、ステータスを確認したり選択した項目を変更します。
❻ VPジャック: Power入力、Video出力
❼ ドームカバー
❽ シールドケース

取付け

- 取付けは、資格のあるサービススタッフまたはシステム設置者が行ってください。
- 天井の素材に取付けネジを固定できる強度がない場合、カメラが落下する可能性があります。必要に応じて天井を強化してください。

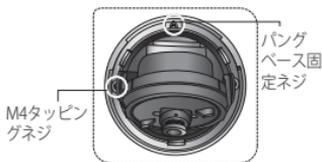
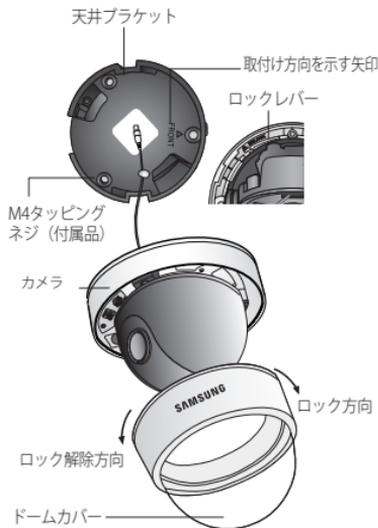
取付け

カメラを設置場所から取り外す場合

1. ドームカバーとシールドケースを取り外します。

2. カメラ下部のロックレバーをUNLOCK（ロック解除）の位置に押し下げて、もう一方の手で反時計回りに回して、天井ブラケットを本体から取り外します。

- 取付けは、資格のあるサービススタッフまたはシステム設置者が行ってください。
- 天井の素材に取付けネジを固定できる強度がない場合、カメラが落下する可能性があります。必要に応じて天井を強化してください。
- ケーブルの位置を変更する場合は、穴カバーを取り外し、ケーブルを通します。

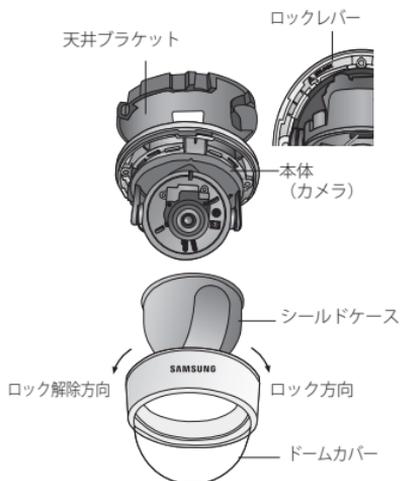
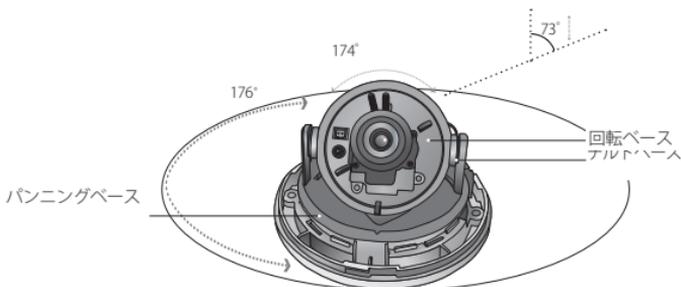
天井ブラケットの使用時

1. カメラ下部のロックレバーをUNLOCK（ロック解除）の位置に押し下げて、もう一方の手で反時計回りに回して、天井ブラケットを本体から取り外します。
2. 取り外した天井ブラケットを、その前面が監視エリアを向くように配置し、M4タッピングネジで取り付けます。
3. 本体を天井ブラケットと結合するため、パンニングベース固定ネジを天井ブラケットの前面の裏側に合わせ、時計回りに回します。
4. カメラレンズを監視エリアに向くよう調整し、溝を合わせて本体を時計回りに回して、本体およびドームカバーを固定します。

[図-2]

■ カメラを天井ブラケットと結合して取り付ける場合は、本体の側面で2本のM4タッピングネジを使用して固定してください（9ページの[図-2]を参照してください）。

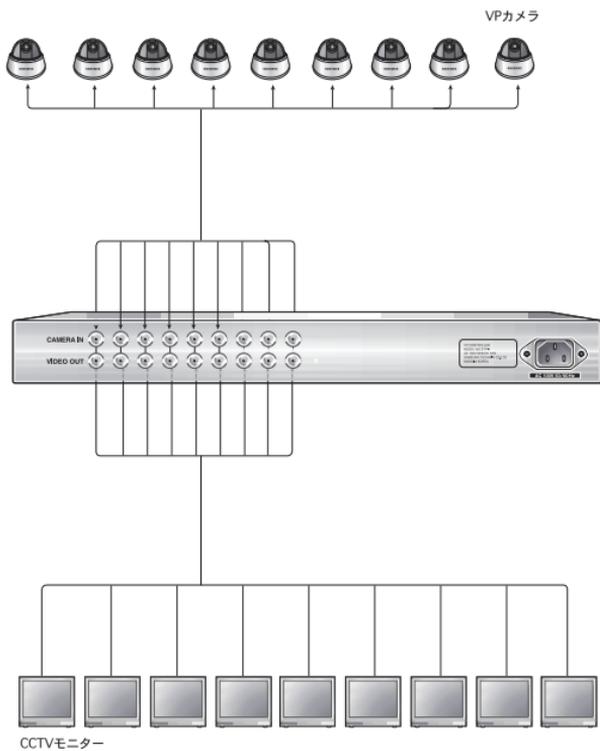
カメラを設置場所から取り外す場合

1. ドームカバーとシールドケースを取り外します。

2. カメラ下部のロックレバーをUNLOCK（ロック解除）の位置に押し下げて、もう一方の手で反時計回りに回して、天井ブラケットを本体から取り外します。

モニターを参照しながらパンニング、チルト、回転を調整する

1) パンニング、チルト、回転装置を使用して、カメラを任意の方向に調整できます。
   - パンニングベースは左右それぞれに176°、全体として352°動きます。
   - チルトベースは全体で73°の角度（0°~73°）動きます。
   - 回転ベースは左右それぞれに174°、全体として348°動きます。

2) 調整方法
   - 壁面に取り付ける場合
     ❶ カメラを壁面に取り付けた後、パンニングの角度を調整します。この時、下記のチルト調整と合わせて最適な画像が得られる様に予測しながら調整します。
     ❷ チルトベースを回してチルト角度を調整します。
     ❸ 回転ベース固定ネジを緩め、回転ベースを調整して監視エリアが最もよく見えるようにします。
     ❹ 回転ベース固定ネジを締めます。
   - 天井に取り付ける場合
     ❶ カメラを天井に取り付けた後、パンニングベースを回して、監視位置が適切になるようパンニングの角度を調整します。
     ❷ チルトベースを回してチルト角度を調整します。
     ❸ 回転ベース固定ネジを緩め、回転ベースを調整して監視エリアが最もよく見えるようにします。
     ❹ 回転ベース固定ネジを締めます。

取付け

カメラコントローラー(電源供給装置、型名:STP-9)の接続

接続

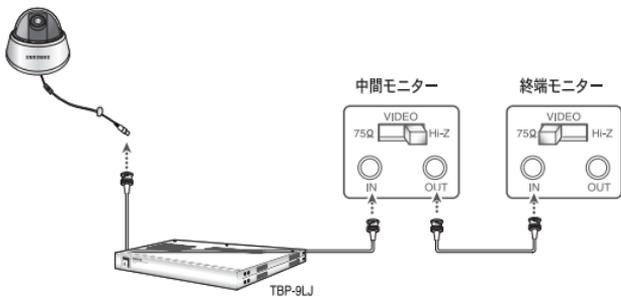
モニターとの接続

カメラの背面にあるビデオ出力端子をモニターに接続してください。

- モニターと付属品のタイプによって、接続方法は異なります。 各機器のユーザーマニュアルを参照してください。
- 接続時は、電源スイッチを切っておいてください。

・**接続する機器により接続方法が異なるため、接続機器の取扱説明書を参照ください。**

・**ケーブル接続は電源を切ってから行ってください。**

・**下図のように、中間のモニターの75Ω終端はHi-Zに、最終機器で終端します。**

接続

高電圧電源重畳タイプ（DC27V＋映像信号）

注1）使用可能なケーブル長は、カメラの消費電流により異なります。下表を参照ください。

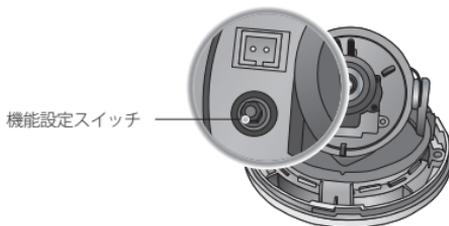
カメラ型式名	3C－2V使用時	補償スイッチ	5C－2V使用時	補償スイッチ
SCB－2000VP	最大 300 m	100m以上でON	最大 500 m	150m以上でON
SCD－2080VP	最大 300 m		最大 500 m	
SCB－3000VP	最大 150 m		最大 300 m	
SHC－735VP	最大 150 m		最大 300 m	

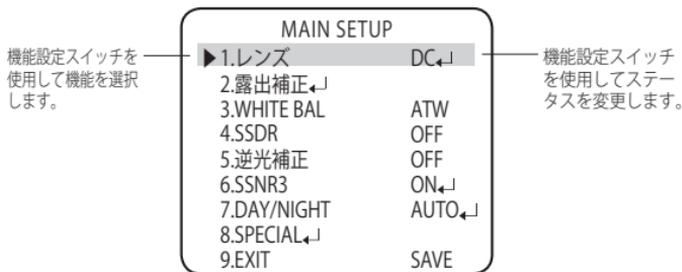
カメラの操作

メニュー設定

MAIN SETUP			
レンズ	• DC		
露出設定	• BRIGHTNESS • SENS-UP	• SHUTTER • 戻る	• AGC
WHITE BAL	• ATW • MANUAL	• 室外 • AWC→SET	• 室内
SSDR	• OFF	• ON	
逆光補正	• OFF	• BLC	• HLC
SSNR3	• OFF	• ON	
DAY/NIGHT	• COLOR	• B/W	• AUTO
SPECIAL	• IMAGE機能 • MOTION DET • LANGUAGE	• MONITOR • PRIVACY • 戻る	• カメラTITLE • DIS
EXIT	• SAVE	• NOT SAVE	• RESET

メニューの設定

カメラの機能設定スイッチを使用します。

1. 機能設定スイッチを押します。
   • MAIN SETUPメニューがモニター画面に表示されます。

カメラの操作

2. 機能設定スイッチを使用して目的の機能を選択します。
   - 目的の項目の上にカーソルを置きます。
3. 機能設定スイッチを使用して、選択した項目を設定します。
4. 設定を終了するには、'EXIT'を選択して機能設定スイッチを押します。

- ↵アイコンがある項目にはサブメニューもあります。サブメニューを選択するには、アイコンがある項目を選択し、機能設定スイッチを押します。
- - - - アイコンが表示された項目は、機能設定により使用不能です。

レンズ

この機能を使用して、画面の明るさを調整できます。

1. MAIN SETUPメニューの画面が表示されたら、矢印が'LENS'を指すように機能設定スイッチを使用して、'LENS'を選択します。
2. レンズモードにはさらにサブメニューがあり、そのリストは次のとおりです。

   - BRIGHTNESS : 映像の明るさを調整します。

   - FOCUS ADJ : レンズのフォーカスを正しく調整するには、Focus Settingsモードを有効にする必要があります。Focus Settingsモードを有効にするには、レンズのフォーカスを調整します。その後は、Focus Settingsモードを無効にします。

   - ESCシャッターモードのシャッター値を調整することができます。

露出補正

1. MAIN SETUPメニューの画面が表示されたら、矢印が'露出補正'を指すように機能設定スイッチを使用して、'露出補正'を選択します。

MAIN SETUP	
1.レンズ	DC↵
▶2.露出補正↵	
3.WHITE BAL	ATW

2. 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。

- BRIGHTNESS : 映像の明るさを調整します。
- SHUTTER : シャッターを選択できます。
  - A.FLK : 画像がちらつく場合に、これを選択します。ちらつきは、設置された光源の周波数との不調和によって発生します。
  - ESC : シャッター速度を自動的に調整する場合に、これを選択します。ESCを選択すると、物体の周囲の照明に応じてシャッター速度が自動的に調整されます。
  - MANUAL : シャッター速度を手動で調整できます。(1/60~1/120,000)
  - --- : シャッター速度は1/60秒(1/50秒)に固定されます。

- ■ カラーローリングが発生する場合は、SHUTTERのモードを---に設定します。
- ■ SHUTTERをMANUALまたはA.FLKモードに設定した場合、SENS-UPは無効になります。

- AGC(自動ゲイン調整)
  ゲインレベルが高いほど、画面は明るくなりますが、その一方でノイズが増大します。
  - OFF : AGC機能を無効にします。
  - LOW : 5.3dB～32dBの自動利得調整を許可します。
  - HIGH : 5.3dB～37dBの自動利得調整を許可します。
- SENS-UP : このモードを有効にすると、夜間や暗いとき、メモリー上に画像を蓄積し、S/Nの改善を行い、鮮明な画像を作り出します。
  - OFF : SENS-UP機能を無効にします。
  - AUTO : SENS-UP機能を有効にします。

- ■ SENS-UPをAUTOにしてサブメニューを開くと、SENS-UPの倍率(×2～×512)を設定する事ができます。
- ■ SENS-UPの蓄積倍率を大きくすると動画に対して残像が目立つ様になります。
- ■ 蓄積倍率をあげるとSENS-UP動作により、ノイズ、斑点、および白っぽくなる症状が現れることがありますが、これは正常な状態です。
- ■ 露出補正のGAINがOFFの時、SENS-UP(感度アップ)は"---"に設定されます。

- 戻る : 露出補正メニューで変更を保存して、SETUPメニューに戻る場合に選択します。

WHITE BAL（ホワイトバランス）

画面の色を調整する場合は、ホワイトバランス機能を使用します。

1. MAIN SETUPメニュー画面を表示し、機能設定スイッチを使用して'WHITE BAL'を選択し、矢印が'WHITE BAL'を指すようにします。
2. 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。

MAIN SETUP	
1.レンズ	DC↵
2.露出補正↵	
▶3.WHITE BAL	ATW
4.SSDR	OFF

※ 目的に合わせて、次の5つのモードのいずれかを選択します。

- ATW : 画面の変化や照明の変化に合わせて、常に白バランスを自動調整する機能で、色温度が1700～1100°Kの範囲で使用可能です。
- 室外 : ATW動作を屋外環境で使用する場合で、色温度が1,700°K～11,000°Kの場合に選択します。（ナトリウム光を含む）
  物体を囲む環境の色温度が制御範囲から逸脱している場合に選択します。（晴天または夕方など）
- 室内 : ATW動作を室内環境で使用する場合で、色温度が4,500°K～8,500°Kの場合に選択します。
- MANUAL : ホワイトバランスを手動で微調整する場合に選択します。まず、ATWモードまたはAWCモードを使用して、ホワイトバランスを設定します。 スイッチをMANUALモードにしたら、ホワイトバランスおよび機能設定スイッチを微調整します。
- AWC→SET : 照明や画像の変化に無関係に、一定の白バランスを維持する機能で、カメラを白い紙の方に向けて機能設定ボタンを押します。 環境が変わった場合は、再調整を行ってください。

■ 次次の条件では、ホワイトバランスが適切に機能しないことがあります。その場合は、OUTDOORモードを選択してください。

❶ 物体を囲む環境の色温度が制御範囲から逸脱している場合（晴天または夕方など）.

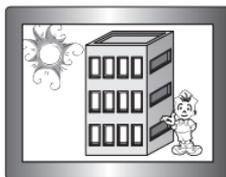
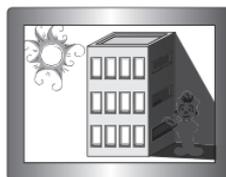
❷ 物体の周囲の照明が薄暗い場合

❸ カメラが蛍光灯に向いているか、照度が大きく変化する場所に設置されている場合には、ホワイトバランスの動作が不安定になることがあります。

SSDR（SAMSUNGスーパーダイナミックレンジ）

この機能は、コントラストの大きな画面などでも明暗両方が見やすくなる様に補正する機能です。画面中の暗い部分は明るくなる様に補正し、明るい部分は飽和しない様に補正します。

1. SETUPメニューの画面を表示し、機能設定スイッチを使用して'SSDR'を選択し、矢印が'SSDR'を指すようにします。
2. 機能設定スイッチを使用して、明るいエリアと暗いエリア間のコントラストに応じてサブメニューでSSDRレベルを変更します。

MAIN SETUP	
1.レンズ	DC↵
2.露出補正↵	
3.WHITE BAL	ATW
▶4.SSDR	OFF
5.逆光補正	OFF

SSDR ON

SSDR OFF

逆光補正

SCD-2080EVPは従来のカメラとは異なり、専用のW-V DSPチップを搭載することで、物体が逆光に立っていても、物体と背景の両方をくっきりと撮影できるように設計されています。

1. MAIN SETUPメニュー画面を表示し、機能設定スイッチを使用して'逆光補正'を選択し、矢印が'逆光補正'を指すようにします。
2. カメラの目的に応じて、機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。

MAIN SETUP	
1.レンズ	DC↵
2.露出補正↵	
3.WHITE BAL	ATW
4.SSDR	OFF
▶5.逆光補正	OFF
6.SSNR3	ON↵

カメラの操作

- BLC : 画面内の枠エリアは、可変する事ができます。この時、枠エリア内が最も見やすい画像になる様に自動調整します。
  - LEVEL : 監視エリアの明るさのレベルを調整します。
  - TOP/BOTTOM/LEFT/RIGHT : 画面内の枠エリアを調整します。
- HLC(ハイライト補正): この機能は強い光をマスクすることで、露出オーバーによるホワイトアウトを最小限に押さえます。カメラを強い光源に向けたときに画面上の他の部分が暗くならない様に補正します。
  - LEVEL : 監視エリアの明るさのレベルを調整します。
  - LIMIT : 動作時間の条件を変更できます。
  - MASK COLOR/TONE : マスクしたエリアに対して、輝度と色彩を付加します。(黒、赤、青、シアン、マゼンタ)
  - TOP/BOTTOM/LEFT/RIGHT : 画面内の枠エリアを調整します。
- OFF : 使用されません。

3. 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。

➲ 'BLC(BLC)'を選択して強調するエリアを調整してから、レベルを調整します。

➲ HLC : レベル、制限、マスクの色/色調およびエリアを変更できます。

BLC SETUP

▶ LEVEL		MIDDLE
TOP	IIII✳IIIIIIIIIIIIII	38
BOTTOM	IIIIIIIIIIIIIIII✳III	109
LEFT	IIIII✳IIIIIIIIIIIII	54
RIGHT	IIIIIIIIIIIIII✳IIII	121

Press SET to Return

- 画面内のハイライト面積がある程度大きくならないとHLCの機能が動作しませんので、最適な設置位置と角度とを見出してください。
- NIGHT ONLYモードでは、明るい光が特定のサイズを超えないとHLCは動作しません。
- NIGHT ONLYモードでは、昼光時または夜間に明るい光がないと、HLCは動作しません。
- HLC機能が使用されている場合、D-ZOOMおよびDIS機能は有効になりません。

SSNR3

この機能は、Night-Modeにおける暗い画面の時、バックグラウンドノイズを軽減します。

1. MAIN SETUPメニュー画面が表示されている場合は、機能設定スイッチを使用して'SSNR3'を選択し、矢印が'SSNR3'を指すようにします。
2. 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。
   - OFF : SSNR3を無効にします。 ノイズは減りません。
   - ON : SSNR3を有効にしてノイズを減らします。

MAIN SETUP

1.レンズ	DC↵
2.露出補正↵	
3.WHITE BAL	ATW
4.SSDR	OFF
5.逆光補正	OFF
▶6.SSNR3	ON↵
7.DAY/NIGHT	AUTO↵

3. SSNR3モードを'ON'に設定して、機能設定スイッチを押します。その後、ノイズリダクションレベルを調整できます。

- '露出補正'メニューのAGCモードを'OFF'にすると、SSNR3を'ON'または'OFF'に設定することはできません。
- ノイズリダクションレベルをSSNR3モードで調整する場合、レベルを高く設定するほど、ノイズレベルが下がりますが残像が増加します。

DAY/NIGHT

昼夜の条件に合わせて、カラーと白黒を切替える機能を設定します。

1. MAIN SETUPメニュー画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用して'DAY/NIGHT'を選択し、矢印がDAY/NIGHTを指すようにします。
2. 目的の画像表示に応じて、機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。

MAIN SETUP

1.レンズ	DC↵
2.露出補正↵	
3.WHITE BAL	ATW
4.SSDR	OFF
5.逆光補正	OFF
6.SSNR3	ON↵
▶7.DAY/NIGHT	AUTO↵
8.SPECIAL↵	

カメラの操作

- COLOR : 画像は常にカラーで表示されます。
- B/W : 画像は常に白黒で表示されます。
  B/Wモードのバースト信号をオンとオフで切り替えることができます。
- AUTO : このモードは通常の環境では'COLOR(カラー)'に設定されますが、周囲の照度が低い場合は、'B/W'モードに切り替わります。AUTO(自動)モードの切替時間を設定するには、機能設定スイッチを押してください。
  B/Wモードのバースト信号をオンとオフで切り替えることができます。

AUTO設定

▶ 切替時間	5 秒
BURSTモード	ON

Press SET to Return

- 切替時間 : DAY/NIGHTモードの変更では、持続時間を選択できます。
  →5秒、7秒、10秒、15秒、20秒、30秒、40秒 、60秒

■ 露出補正メニューのAGCがOFF(オフ)の場合は、AUTO(自動)モードは選択できなくなります。

SPECIAL

1. MAIN SETUPメニュー画面を表示し、機能設定スイッチを使用して'SPECIAL'を選択し、矢印が'SPECIAL'を指すようにします。

MAIN SETUP	
1.レンズ	DC↵
2.露出補正↵	
3.WHITE BAL	ATW
4.SSDR	OFF
5.逆光補正	OFF
6.SSNR3	ON↵
7.DAY/NIGHT	AUTO↵
▶ 8.SPECIAL↵	
9.EXIT	SAVE

2. 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。

SPECIAL	
▶ 1.IMAGE機能↵	
2.MONITOR	LCD↵
3.カメラTITLE	OFF
4.MOTION DET	OFF
5.PRIVACY	OFF
6.DIS	OFF
7.LANGUAGE	日本語
8.戻る↵	

- IMAGE機能 :
  1) SPECIALメニュー画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用して'IMAGE機能'を選択し、矢印が'IMAGE機能'を指すようにします。

IMAGE SETUP	
▶ 1.V-REV	OFF
2.H-REV	OFF
3.D-ZOOM	OFF
4.FONT COLOR	WHITE
5.SHARPNESS	ON↵
6.戻る↵	

  2) 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。
  - V-REV : 画面上の画像を垂直に反転することができます。
  - H-REV : 画面上の画像を水平方向に反転することができます。
  - D-ZOOM : x1～x16のデジタルズームを使用できます。
  - FONT COLOR : OSDのフォントカラーを変更できます。(白、黄色、緑、赤、青)
  - SHARPNESS : この値を大きくすると、画像の輪郭が強調され、明確になります。画像の鮮明度に応じて、この値を適切に調整します。
  - 戻る : この項目を選択すると、IMAGE機能メニューに関する設定を保存し、SPECIALメニューに戻ります。

カメラの操作

- V-REVまたはH-REVモードが有効になっているときは、画面上のテキストは反転されません。
- SHARPNESSのレベルを過度に高くした場合は、画像輪郭が強調されるに伴いノイズが大きくなります。

- Monitor : モニターに適したビデオの設定値に変更してください。
  - LCD : LCDモニターを使用するときは、このメニュー項目を選択してください。サブメニューでガンマ値、PEDレベル、およびカラーゲインを変更することができます。
  - CRT : CRTモニターを使用するときは、このメニュー項目を選択してください。

```
        LCD MONITOR
▶ GAMMA                      0.55
  PED LEVEL    IIIII*IIIIIIIIIIIII  17
  COLOR GAIN   IIIIIIIIIIIIII*IIIII 50
  RESET

     Press SET to Return
```

  - USER : 標準ではないモニターを使用するときは、このメニュー項目を使用してください。サブメニューでガンマ値、PEDレベル、およびカラーゲインを変更することができます。

- カメラTITLE :
  タイトルを入力すると、モニターにタイトルが表示されます。

❶ SPECIALメニュー画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用し、矢印が'カメラTITLE'を指すようにします。

❷ 機能設定スイッチを使用して'ON'に設定します。

❸ 機能設定スイッチを押します。

❹ 機能設定スイッチを使用して目的の文字に移動し、機能設定スイッチを押してその文字を選択します。これを繰り返して複数の文字を入力します。最大15文字を入力することができます。

```
   CAMERA TITLE 設定

A B C D E F G H I J K L M
N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m
n o p q r s t u v w x y z
- . 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
← →  C L R  P O S  E N D

_ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _
```

❺ タイトルを入力し、カーソルを'POS'に移動して、機能設定スイッチを押します。入力したタイトルが画面に表示されます。機能設定スイッチを使用してタイトルを画面に表示する位置を選択し、機能設定スイッチを押します。位置を決定した後、'END'を選択し、機能設定スイッチを押してSPECIALメニューに戻ります。

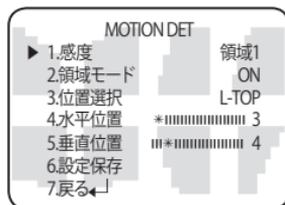
- カメラTITLEが'OFF'になっている場合は、タイトルを入力しても、モニター画面にタイトルは表示されません。
- このモードでは英数字が使用できます。
- カーソルをCLRに移動し、機能設定スイッチを押すと、すべての文字が削除されます。文字を編集するには、カーソルを左下向きの矢印に変更し、機能設定スイッチを押します。編集しようとする文字にカーソルを移動し、挿入しようとする文字にカーソルを移動して、機能設定スイッチを押します。

● MOTION DET :

この製品には、画面上の8つの異なるエリアにある物体の動きを検知する機能があり、動きが検知されると'MOTION DETECTED'という言葉が画面に表示されます。 物体の動きをより効率よく監視できます。

❶ ' SPECIALメニュー画面を表示し、機能設定スイッチを押して、矢印が'MOTION DET'を指すようにします。

❷ 4つの方向ボタンを使用して、領域１～８に対して、各々検知エリアの各頂点位置を設定する事ができます。

- 感度 : MDエリアを8個まで選択できます。 感度の数字を大きくすると、モーション検知感度が高くなり、わずかな動きでも認識されます。
- 領域モード : 感度で選択されたMDエリアを使用するかどうかを決定します。
- 位置選択 : 各MDエリアの4つの頂点のうちいずれを設定するかを決定します。
- 水平位置 SEL POSの横軸の座標を決定します。

カメラの操作

- 垂直位置 : SEL POSの縦軸の座標を決定します。
- 設定保存 : 選択したMDエリアを塗りつぶします。塗りつぶしの色は順に茶、オレンジ、青、シアン、緑、黄、マゼンタおよび赤が選択されます。
- 戻る : この項目を選択すると、MOTION DETメニューに関する設定を保存し、SPECIALメニューに戻ります。

- PRIVACY : 画面上で非表示にするエリアをマスクします。

PRIVACY AREA SETUP		
▶ 1.領域		領域1
2.領域モード		OFF
3.MASK COLOR		GREEN
4.MASK TONE	✳IIIIIIIIIIIIIIIIII	1
5.TOP	II✳IIIIIIIIIIIIIIII	39
6.BOTTOM	IIIII✳IIIIIIIIIIIII	79
7.LEFT	✳IIIIIIIIIIIIIIIIII	13
8.RIGHT	III✳IIIIIIIIIIIIIII	52
9.戻る↵		

❶ SPECIALメニュー画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用し、矢印が'PRIVACY'を指すようにします。

❷ 機能設定スイッチを使用してモードを設定します。

- 領域 : PRIVACYエリアは12個まで選択できます。
- 領域モード : 領域で選択されたエリアを使用するかどうかを決定します。
- MASK COLOR : エリアカラーを決定します。緑、赤、青、黒、白、灰色を選択できます。
- MASK TONE : MASK COLORの輝度を調整します。
- TOP/BOTTOM/LEFT/RIGHT : 選択したエリアのサイズと位置を調整します。
- 戻る : この項目を選択すると、PRIVACYメニューに関する設定を保存し、SPECIALメニューに戻ります。

- DIS (デジタル揺すれ補正機能) : この機能は、風のような外的要因に起因する画像のあらゆる揺れを緩和します。

- DIS機能は、デジタルズーム機能を使用する為、カメラの解像度が若干低下します。
- 背景の照度が低すぎる場合は、DISは機能しません。
- 物体のパターンが空や白い壁のように単調な場合はDISは機能しません。

- LANGUAGE : 必要に応じて、メニューの言語を選択できます。
  - 英語、韓国語、日本語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、台湾語
- 戻る : この項目を選択すると、SPECIALメニューに関する設定を保存し、MAIN

SETUPメニューに戻ります。

EXIT

カメラの目的に応じて、機能設定スイッチを使用して目的のEXITモードを選択します。

- SAVE : 現在の設定を保存し、MAIN SETUPメニューを終了します。
- NOT SAVE : 現在の設定を保存せずに、MAIN SETUPメニューを終了します。
- RESET: カメラの設定を工場出荷時の値にリセットします。LANGUAGEおよびMONITORの設定は初期化されません。

トラブルシューティング

トラブルシューティング

カメラの動作に問題がある場合は、次の表を参照してください。
ガイドラインに従っても問題が解決しない場合は、認定技術者にお問い合わせください。

問題	トラブルシューティング
画面に何も映らない。	▶ カメラからの同軸ケーブルが、カメラコントローラのＶＰ端子側に接続されている事を確認してください。ＶＰ端子側には、常時DC27Vの電源が印加しています。 ▶ カメラコントローラのAC100V電源が正しく接続されている事を確認してください。 ▶ カメラコントローラの電源を切った後で、同軸ケーブルが断線していないかテスターで確認してください。
画面に表示される画像が薄暗い。	▶ レンズがほこりで汚れていませんか。柔らかく清潔な布でレンズを掃除してください。 ▶ モニターを正しい状態に設定してください。 ▶ カメラが非常に強い光に晒されている場合は、カメラの位置を変更してください。
画面に表示される画像が暗い。	▶ モニターまたはDVRのコントラスト機能を調整してください。 ▶ 中間デバイスを使用している場合は、75Ω/Hi-z（ハイインピーダンス）を正しく設定します。
感度アップメニューが機能しない。	▶ 露出補正 SETUPメニューのAGCが'OFF'になっていることを確認してください。 ▶ 露出補正 SETUPのSHUTTERが'A.FLK'または'MANUAL'になっていることを確認してください。
モーション検知機能が動作しない。	▶ SPECIAL SETUPメニューのMOTION DET'が'OFF'になっているかどうかを確認してください。
色が正しくない。	▶ WHITE BAL SETUPメニューの設定を確認してください。
画面が継続的にちらつく。	▶ カメラの方向が太陽に向いているかどうかを確認してください。
映像の解像度が落ちて、ぼやけて見える。反対に、不自然にギラギラして見える。	▶ 同軸ケーブルが長すぎて、ケーブル補償が効かない状態になっている可能性があります。 ▶ カメラコントローラ背面のケーブル補償スイッチが、適正に成っていない可能性があります。 ▶ ケーブル補償が過補償になっている可能性があります。

仕様

仕様

	SCD-2080EVPN
電力関連	
入力電圧	専用カメラコントローラ（TBP-9LJ）による
消費電力	最大3.5W
ビデオ	
撮像素子	1/3インチ、6mm Super HAD CCD
合計画素数	811(H) x 508(V)
有効画素数	768(H) x 494(V)
走査システム	2:1インタレース
同期	内部
発信周期	H : 15.734KHz V:59.94Hz
水平解像度	カラー: 600TV本
最低照度	カラー : 0.15 ルックス (50IRE, @F1.2), 0.0003ルックス (感度アップ, x512)
S/N（Y信号）	52dB (Weight On, AGC Off)
ビデオ出力	CVBS : 1.0Vp-p、75Ω、コンポジット
レンズ	
ズーム倍率	3.6x（マニュアル）
焦点距離	2.8 ~ 10.0mm (F1.2)
画角	望遠 : 28°(H) x 21°(V), 広角 : 94.4°(H) x 69.2°(V)
操作関連	
電子シャッター速度	1/60～1/120k秒
画面表示	韓国語、英語、日本語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、台湾語
SSDR	On / Off (レベル調整)
逆光補正	BLC / HLC / OFF
昼/夜	COLOR / BW / AUTO (SWタイプ)
ゲイン調整	Low / High / Off
ホワイトバランス	ATW/屋外/屋内/手動/AWC（1,700°K～11,000°K）
感度アップ（フレームインテグレーション）	Auto / OFF (選択可能、 x2 ~ x512)
モーション検知	On / OFF （8のプログラム可能ゾーン）
プライバシーマスク	On / OFF（12のプログラム可能ゾーン）

3Dノイズフィルタ（SSNRIII）	On / OFF (レベル調整)
デジタルズーム	On / OFF (x1 ~ x16)
デジタル手ブレ補正（DIS）	On / OFF
カメラタイトル	On / OFF (15文字表示)
鮮明度	On / OFF (レベル調整)
反転/ミラー	On / OFF
環境関連	
動作温度/湿度	-10℃~+50℃/90%RH未満
メカニカル	
寸法/重量	Ø116 x 93(H)mm / 345g

※ 製品の改良のため、この製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

寸法